

1 単元 遠足のおやつを買おう

2 指導観

- 本学級の子ども達は、1年生A児、2年生B児、C児、D児、5年生E児、F児の計6名である。4月からこれまで、学年が異なる児童に別々の課題を用意し、個別や小グループで学習をしてきた。「数と計算」の領域では、A児は、1位数の繰り上がりのないたし算ができるようになった。B児、C児、D児は、個数と数字を対応させながら100までの数を数えることができるようになり、ブロックや○を数えながら1位数のたし算ができるようになった。E児とF児は、2位数や3位数の加法や2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算ができるようになった。そこで、遠足のおやつを買う場面を想定し、個数や代金を求める式を立て、正しく解くことができるようにしたい。このことは、算数的活動に取り組みながら学習内容を確実に習得し、学ぶ意欲をもつ児童を育てる上からも意義深い。
- 本単元では、遠足のおやつの買い物の場面を想定し、それぞれが身に付けた計算する力を、共通の生活場面で生かす活動を取り入れる。また、おやつの個数や代金の計算を通して、1位数どうしの加法や2位数・3位数の加法など一人一人に応じた「数と計算」領域の内容を習得できるよさもある。子ども達が今後、日常生活を送る上で必要な内容であり、子ども達同士が楽しく関わり合いながら意欲的に学ぶことができると考える。
- 本単元の指導にあたっては、問題場面から立式し、それぞれの学年に応じた計算を正しく解くことができるようにすることをねらいとしている。そこで、子ども達が意欲的に問題を解決できるようにするために、遠足のおやつを買うという場面を想定する。

尚、本時指導にあたっては、まず、学年に応じた計算の仕方を確認する。そして、個に応じた計算の仕方でも計算をする。1・2年生は2つの物「うまいぼう」と「ガム」の個数を1位数どうしの加法の計算で求める。その際、B・C・D児は、数の概念形成が不十分で同時に2種類の物を数えると、はじめに数えたものの数を忘れ、計算まちがいをしやすいと予想される。絵だけのカードと、絵の上に個数を書いたカードの2種類を用意し、数えることへの抵抗を減らし、安心して立式できるようにする。5年生E・F児は2つ以上の物を買って、3位数と2位数同士の加法の計算をする。さらに、200円という予算の範囲内で、2位数、3位数の加法の計算を繰り返す。その際、筆算で位をそろえず計算することが予想されるため、まず目のついた学習プリントを用意する。最後に、5年生がアドバイスしながら1・2年生が好きなおやつカードを選び、5年生が2位数・3位数の加法や2位数×1位数の乗法で代金を計算して200円以内の「おやつベストメニュー」を決め、達成感を味わわせたい。

3 目標

- 買い物に関心を持ち、進んでいろいろな代金や個数を求めようとする態度を育てる。
- 自分の買いたい品物を選んだり、式を立てて計算したりすることができる。
- 1・2年生は買い物した個数を、5年生は買い物の代金を、計算して求めることができる。

4 単元計画 (算数3時間+生単3時間)


- 1 遠足のおやつの買い物場面で、個数や代金を求めることができる。 \_\_\_\_\_ 3  
 (1) おやつの組み合わせを考えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・② 本時(1/2)  
 (2) 電卓の使い方を知ろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・①
- 2 遠足のおやつを買おう \_\_\_\_\_ 生活単元3

5 本時 平成30年6月21日(木) 第3校時 於こすもす1教室

6 主眼

- 1・2年生は、1位数同士の加法を正しく計算することができる。
- 5年生E・F児は、2位数や3位数同士の加法を正しく計算することができる。

7 本時の学習活動(1/3)

段階	学 習 活 動	具体的な手立て※評価
説明	<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>遠足のおやつの数や代金を計算しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おやつやお金の模型を見て、遠足のおやつとその代金200円のイメージをもつ。</li> <li>○ 計算の仕方を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A・B・C・D児は、おやつを数え、おやつを数えたい算の式と答えを正しく書く。</li> <li>○ E・F児は、おやつを数えたい算の式と答えを正しく書く。</li> </ul> </div> <p>2 全員の計算の仕方を確認し、計算をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【確認問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A・B・C・Dは、「うまいぼう」と「ガム」の個数を合わせて、たし算の式で表し、答えを求める。</li> <li>○ E・Fは、2つの品物(3位数と2位数)の代金を、たし算の式で表し、位をそろえて計算の順番と繰り上がりに気をつけながら筆算をし、答えを求める。</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【予習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お店屋さんにある品物を見ておく。</li> </ul> </div> <p>【困難度査定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 答えに助数詞を書かない、正しく数えない、位がそろわない、繰り上がりを足さない、九九を間違えることが予想される。</li> <li>○ タイマーで見通しをもたせる。</li> <li>○ A・B・C・D児は、答えが1～9になる絵カード30枚を使って、数えながら答えを出すことができるようにする。絵カードは、数字を書いたものと、数字のないものの2種類を準備し、選んで取り組むことができるようにする。</li> <li>○ E・F児には、まず目に筆算を書かせ、位をそろえて計算できるようにする。200円までの予算で買えるおやつを組み合わせを、筆算を繰り返して求めることができるよう例題を示す。</li> </ul>
理解確認	<p>3 それぞれの計算の仕方でおやつを数え、代金を求める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【深化問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A・B・C・D児は、おやつを数えたい算の式と答えを正しく書く。</li> <li>○ E・F児は、200円までの予算で、いろいろなおやつを組み合わせを考え、たし算の式で表し、筆算をして答えを求める。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1・2年生は10円のおやつを選び、5年生が残りの予算を考えながらおやつを組み合わせを考え、代金を求める。</li> </ul> <p>※ 1位数どうしの加法の式や答えを書くことができたか。(1・2年)</p>
自己評価	<p>4 本時の学習を振り返り、わかったことやできるようになったことを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算の計算ができました。</li> <li>・たし算の筆算ができました。</li> <li>・間違えずに○をもらってうれしかったです。</li> </ul> </div> 	<p>※ 筆算の計算の仕方に気をつけ代金を求めることができたか。(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の学習を振り返り、お互いに称賛して、達成感を味わわせる。</li> </ul>